

1 日時 平成23年3月7日(月) 13時30分～16時

2 会場 さいたま市役所 2階 特別会議室

3 出席者

委員

◎ 学識経験者:佐々木寧委員(会長)、堂本泰章委員(副会長)、鷺谷いづみ委員、小茂田美保委員、磯田洋二委員

◎ 行政関係者:三橋さゆり委員、津田賢一委員、吉川昇男委員、鯉沼貢委員

◎ 助言・指導者等:文化庁記念物課文化財調査官[天然記念物担当]本間暁、埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課主幹[指定文化財担当]石坂俊郎

② 事務局

小野安史生涯学習部長、小倉均文化財保護課長、野尻靖文化財保護課副参事兼文化財保護係長、渡辺主査

4 議事

(1) 議題

桜草公園管理について

「田島ヶ原サクラソウ自生地」の乾燥化について

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴人の数 3人

7 議事内容 下記のとおり

記

1 議事事項

(1) 桜草公園管理について

公園の管理委託の内容

質疑応答

管理内容や方針、管理者一元化の問題点

(2) 「田島ヶ原サクラソウ自生地」の乾燥化について

桜草公園内排水溝の機能

アスファルト舗装

現在の駐車場の問題点

自生地内及び周辺樹木の状況と問題点

市民への周知や啓発

将来的な自生地・桜草公園のあり方

2 意見

- ① 天然記念物に接しているの、通常の公園管理とは違うものがあるべき。担当課の連携、管理の一元化をしてはどうか。(佐々木委員・堂本委員・津田委員)
- ② 自生地の水の問題の解決には、公園機能の両立は難しい。(磯田委員)
- ③ 公園管理の関係者に、会議の参加をお願いしたい。(堂本委員)
- ④ 4・5年前の台風で、桜草公園内の池の水を溜める関が壊れたため、南側の池が乾いて、水がたまらない状態になっており、乾燥化の要因の一つになっている。(磯田委員)
- ⑤ 排水出口は、どれくらい機能しているのかわからない。(磯田委員)
- ⑥ サクラソウは乾燥も加湿状態も嫌う。かつては、地下水が高い時には、下から生育に良好な水が上がってきており、湿地を保っていたが、今はそれが無いのが大きな問題。(磯田委員)
- ⑦ 園芸用の土を自生地に捨てていく人がいる。外来植物やウイルス等が混入され、自生地に大きな影響を与える危険がある。(磯田委員)
- ⑧ トウネズミモチとサクラは鳥を誘引する効果が高く、鳥が、木にとまって糞をすると、どこかから持ってきた種が、自生地内に芽生える。自生地周辺は、そうした樹種を含め木が無い状態が望ましい。公園としての植栽として持ち込まれて、増えてしまう可能性のあるものを伐採したほうがよい。(佐々木委員・堂本委員・鷺谷委員・磯田委員)
- ⑨ 自生地の正しい知識を市民へ情報提供、ワークショップやフォーラム等の開催等、広く市民を巻き込んだ議論が必要。(鷺谷委員)
- ⑩ 天然記念物の維持管理には、定期的に人手を加えることが必要。行政だけでは困難なので、地元の方々のNGO参加や活動は大事。(本間委員)
- ⑪ 自生地の保全のため、緩衝帯を100m範囲でとり、統一したマネジメントを行いたい。車の駐車は周辺の駐車場を利用し、歩いて自生地に入る。水の問題は、利用できるのは雨水のみなので、現在の駐車場を貯水池にする等、湿地環境を維持していきたい。(佐々木委員)
- ⑫ 桜草公園は、都市公園でも自然公園的な要素を持つことが望ましい。実験圃場は、サクラソウが綺麗に生育している。ここにサクラソウの原野を再生したい。また、さくら草まつりは実験圃場で行いたい。(磯田委員)
- ⑬ さくら草まつりで、アンケートを取りたい。また、策定委員会で話し合われている課題等をアピールしていきたい。市民の皆さんに方向性を知ってもらうことが大事。(佐々木委員・津田委員・本間委員)
- ⑭ 桜区の区の花が、サクラソウに決定した記念事業や、区民祭りをサクラソウ自生地で行いたい。(津田委員)
- ⑮ 予算の有無ではなく、市民団体と連携した事業開催等を行う等、スピード感のある対応が大事。(堂本委員)
- ⑯ みどりの基本計画の見直しで、既存都市公園の維持管理の位置づけが大きい。そこを念頭に置いた計画の見直しも必要。(津田委員)
- ⑰ できるだけスピーディに短期的に改善できるものは実施しながら策定委員会を進めていきたい。(佐々木委員)

3 質問・回答

質問① 公園側のサクラソウや自生地に対する管理方針はあるか。(堂本委員)

回答① 自生地は、文化財保護課の管理なので、管理方針はない。(吉川委員)

質問② 火入れをすれば、トウネズミモチは育たないのではないか(鷺谷委員)

回答② トウネズミモチ等は日陰をつくり、根元に下草がないので、火入れの火が回らない。したがって、たくさんの木が生える環境を作る。毎年、作業員が数千本の樹木の芽生えを抜いて処理。(磯田委員)

質問③ 桜草公園の樹木を伐採したい。(佐々木委員・堂本委員・鷺谷委員・磯田委員)

回答③ 木を切らないでほしいという意見もあり、市民の理解が必要。(吉川委員)

質問④ NGO、市民の活動はどのように行っているのか。(鷺谷委員)

回答④ 「田島ヶ原サクラソウを守る会」がある。今年2年目を向かえ、今後の充実した活動を期待されている。(磯田委員)

質問⑤ 河川整備の今後の予定について。(佐々木委員)

回答⑤ 自生地周辺の整備は終了し、工事の予定はない。(三橋委員)

質問⑥ 浚渫の沈殿物の処理方法、今後の実施時期について。(磯田委員)

回答⑥ 4 年位前に浚渫を行ったが、今後は計画がない。必要に応じて御相談の上行う。沈殿物等は景観に配慮し、適切に処理する。(三橋委員)

質問⑦ 鴨川放水路の水を利用できないか。(磯田委員)

回答⑦ 鴨川放水路に流れている水は、第一調節池の中に降った雨が染み出して流れたもの。人工的な雑排水が入っていないので、綺麗に見えるが、水量は少ない。洪水になると、排堰場から水を出すので、かなり大量の水が流れる。(三橋委員)

自生地が氾濫原になるような設計だが、水質を考えると雨水が望ましい。(佐々木委員)

質問⑧ 現在の第一次指定地の駐車場を仮に撤去した場合、自生地保全を考慮した駐車場をもう一度作り直すことはできるのか。(磯田委員)

回答⑧ 増設は、駐車場が足りないということであれば、可能。(津田委員)

質問⑨ 西浦和駅から歩いて見学に来る人が多いので、橋を渡ってまっすぐ入れる道路を作れないか。(磯田委員)

回答⑨ 担当課に今後の計画を確認後回答。(事務局)

質問⑩ 自生地は、海水の塩水が入っている汽水域かと思うが、サクラソウへの影響はあるのか。(津田委員)

回答⑩ 海水は、サクラソウにとっては良くない。現在、7m位の水面との差があり、影響はないと思う。(佐々木委員・磯田委員)海水が鴨川を含め秋が瀬取水堰まで上ってくるのが現状。川は汽水域だが、昔から自生地は地下水等、違う水源で保ってきたのではないかと思う。(三橋委員)

質問⑪ 過去のさくら草まつりの入場者数。(佐々木委員)

回答⑪ 入場者は毎年、約6万人前後。毎年、4月の17から20日頃の日曜日に開催。市役所前の広場でサクラソウの品評会を実施。約150鉢が集まり、参加者2千5百人前後。(鯉沼委員)

質問⑫ 自生地内井戸のポンプアップの容量を上げて、自生地に水を持っていくことは可能か。(津田委員)

回答⑫ 地下水を下げることになる。スプリンクラーで、くみ上げたものは十分に行き渡らない。(磯田委員)

質問⑬ 全体計画では、最後の印刷物は報告書なのか。(佐々木委員)

回答⑬ 体裁は未定。印刷物ということで考えている。(事務局)

4 その他

今回は、河川整備や地形の変化等を、荒川上流河川事務所から説明と、現状の課題を確認し、議論を行う。

これをもって、会議を終了した。